



医労連・自治労連・全大
でつくる医療三連産は3
月5日、「ケア労働者の大幅
賃上げと大幅増員・夜勤改
善」を求めて、国会議員要請
および経団連前宣伝を行
いました。

国会議員要請の意思統一
集会では全大教病院協議会
の山城幹事(琉球大学病院)
から「看護師の賃金水準が
非常に低い状態にも関わらず人手
が足りない大学がある。退職者
も多く出ている状態。声を上げて改善させたい」と
国立大学病院の現状について訴えました。意思統一集
会には、20人を超える国会議員が駆けつけ、激励の挨拶がありました。

参加者は各議員へ要請を
お伝えしました。

長谷川信
(病院協議会議長)

ケア労働者の大幅賃上げと 夜勤改善の実現を求めて

全大教中央執行委員会、京都大学職員組合



運営費交付金の 大幅な増額を!



全大教中央執行委員会と
京都大学職員組合は合同で
3月18日、国公立大学・大
学共同利用機関・国立高専
の運営費交付金の大幅増額
を求めて、立憲民主党文部
科学部門会議のヒアリング
に参加しました。

要旨

【学生の負担増加にストップ】
東京大学で学費が値上がり
される中、「国立大授業料1
50万」の提唱者が中教審

行つた後、経団連会館前で
「医療の置かれている現状」
を訴え、「企業のみならず医
療現場にも賃上げ可能な経
済状況になること」を求め
ました。

今回の要請を通じて「医
療現場のリアルワールド」
を世論に訴えることができ
ました。引き続き、安全・
安心な医療提供のためにも
日々の組合活動を行つてい
きたいと感じました。

岡本議長の「年1回の会
であるが、皆さまの意見は
今後の活動・交渉へ活かし
たい」旨の挨拶に始まり、
続いて永井全大教書記長か
ら、「人勧進拠の給与改定は
非常に難しい情勢である
中、幹事会の交渉により人
勧通りとなつた。」「皆さま
のご尽力により高専の評価
は高くなつていて。」と挨拶
がありました。

議題として、団体交渉報
告、高専機構予算説明、今
後の協議要求事項説明、單
組交流議題について活発な
意見交換が行われました。
特に給与規則改定に関する
報告内、教授職以上(教
育職俸給表4級以上)の改
定は、利益、不利益変更が
混在する大幅改定になるこ
とから時間を割き丁寧な説
明が行われました。

単組交流議題の中では各

单組において組合組織率の
低下に苦慮し、特に新規採
用教職員の加入に向けた施
策の情報交換が行われま
した。おおむね個別訪問で
加入に一定の成果があり、さ

高専協議会幹事会として
は、各校による温度差は良
い取り組みをしている学校
に寄せられるよう、各单組
から幅広い意見を集約し、
高専機構本部と交渉を行つ
ていきます。今後も待遇改
善、働きやすい環境の整備
に向け、さらに取り組みを
進めていきたいと思います。

(高専協議会幹事
小林一誠)

立憲民主党 文部科学部門会議 ヒアリング参加

3月18日

全大教新聞

2025年4月10日

第430号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



[PDF版(全面カラー)]
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107
[電話] 03-6802-4250
[HP] <http://zendaikyo.or.jp/>
[所在地]〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル 2階
*組合員の購読料は
組合費に含まれています(一部30円)

今月の紙面

2025年2月
②春期・新歓期合同地区別単組
代表者会議(3月1日) 関東甲信越地区、
北海道・中四国地区合同
組合の大切さを伝えて加入を呼びかけよう!
論壇「地域交通の再設計—公共交通の改善
で地域と暮らしの持続性を高める—」
福島大学 経済経営学類教授 吉田樹

④ 単組からのレポート
・東京大学
「挑戦と変革のまつただ中」
・京都工芸織維大学
「労使の円滑な意思疎通へ向けて」

高専単組代表者会議

待遇改善、働きやすい環境の整備に向けた取り組み



3月2日
オンライン

全大教高専協議会は3月2日に、高専単組代表者会議をオンラインで開催しました。準加盟単組を含む計16単組と幹事会による活発な意見交換が行われました。

岡本議長の「年1回の会であるが、皆さまの意見は今後の活動・交渉へ活かしたい」旨の挨拶に始まり、続いて永井全大教書記長から、「人勧進拠の給与改定は非常に難しい情勢である中、幹事会の交渉により人勧通りとなつた。」「皆さまのご尽力により高専の評価は高くなつていて。」と挨拶がありました。

議題として、団体交渉報告、高専機構予算説明、今後の協議要求事項説明、単組交流議題について活発な意見交換が行われました。特に給与規則改定に関する報告内、教授職以上(教育職俸給表4級以上)の改定は、利益、不利益変更が混在する大幅改定になることから時間を割き丁寧な説明が行われました。

高専協議会幹事会としては、各校による温度差は良い取り組みをしている学校に寄せられるよう、各单組から幅広い意見を集約し、高専機構本部と交渉を行つています。今後も待遇改善、働きやすい環境の整備に向け、さらに取り組みを進めていきたいと思います。